

パレット標準化推進分科会の進め方について（案）

●官民物流標準化懇談会・パレット標準化推進分科会の設立経緯

1. 概要

令和3年6月15日に閣議決定された新しい総合物流施策大綱では、取り組むべき大きな柱のひとつとして「物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化（簡素で滑らかな物流の実現）」を提言。

物流DXの推進のためには、その大前提として、物流を構成するソフト・ハードの各種要素の標準化が必要不可欠。長年の課題であった物流標準化を実現するため、長期的視点でその課題や推進方策を議論・検討するため「官民物流標準化懇談会」を設置・開催。

2. 対象となる議題・テーマ：ハード・ソフト含むすべての物流各項目

3. 第1回 官民物流標準化懇談会（令和3年6月17日）

- ・物流標準化の重要性や意義、検討すべき課題や、議論にあたって留意すべき観点等について確認。
- ・懇談会の下に個別の標準化テーマごとの分科会を設け、専門家の意見等も聞きながら標準化の方策について検討を進めていくことを決定。
- ・具体的には、まずは先行的に物流機器（パレット等）の標準化について検討する分科会の設置・開催を決定。

4. 今後の予定

本懇談会は年1～2回の開催予定。個別のテーマは分科会にて議論。

「官民物流標準化懇談会」構成員（五十音順、敬称略）

荒木 毅	日本商工会議所 社会資本整備専門委員会委員長 (富良野商工会議所会頭)
荒木 秀夫	SGホールディングス株式会社 代表取締役社長
栗島 聡	公益社団法人経済同友会 幹事
内田 富雄	一般財団法人日本規格協会 業務執行理事
金子 千久	全国農業協同組合連合会 参事
神宮司 孝	株式会社日立物流 代表執行役副社長
高岡 美佳	立教大学経営学部 教授
長尾 裕	ヤマトホールディングス株式会社 代表取締役社長 社長執行役員
根本 勝則	一般社団法人日本経済団体連合会 専務理事
根本 敏則	敬愛大学経済学部 教授
橋爪 茂久	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事
二村 真理子	東京女子大学現代教養学部 教授
堀切 智	日本通運株式会社 代表取締役副社長
馬渡 雅敏	公益社団法人全日本トラック協会 副会長
味水 佑毅	流通経済大学流通情報学部 教授
米田 浩	一般社団法人日本倉庫協会 理事長
渡邊 健二	一般社団法人日本物流団体連合会 会長
太田 豊彦	農林水産省 食料産業局長
畠山 陽二郎	経済産業省 商務・サービスグループ審議官
久保田 雅晴	国土交通省 総合政策局 公共交通・物流政策審議官
椋川 直也	国土交通省 自動車局長

※令和3年6月17日時点

パレット標準化推進分科会の進め方〈案〉

1. 分科会における検討課題と進め方

必要に応じて検討課題・論点ごとに時限の小分科会を立ち上げるなど、課題・論点ごとに発展的に改組しながらとりまとめに向けて議論を進めていく。

また、標準化は中長期的な課題であるが、2024年度からトラックドライバーの時間外労働上限規制が適用されることや、事業者の予見可能性を高め段階的に標準化を促す観点から、必要に応じて中間的なとりまとめを行うことも検討する。

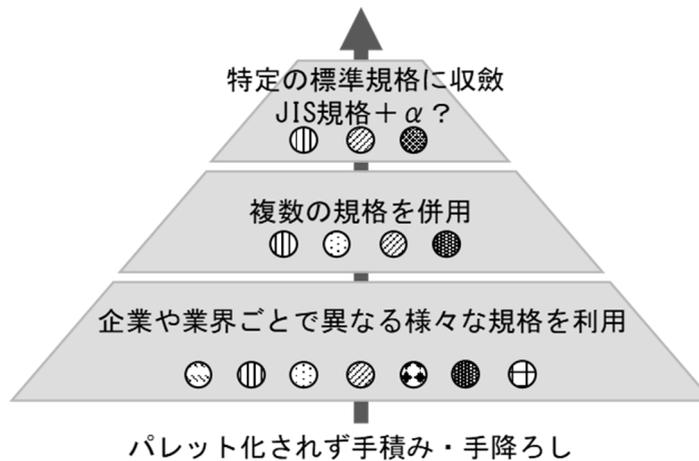
〈第1段階：実態把握・方針検討〉

①実態調査…国内外のパレット標準化推進状況や課題、過去の取組事例等の把握が必要。

①検討対象パレット…パレット（平パレット／ロールボックスパレット／シートパレット等）のうち優先順位を付けて進めることが必要。

②パレットサイズ・仕様にかかる標準化方針検討…標準規格は具体的にはどのような規格であるべきか検討が必要。

〈参考〉パレットのサイズ・仕様の標準化の進め方イメージ



※手荷役から、パレットによる機械荷役、更に標準化されたパレットの利用拡大を目指すことが必要。

③パレットの運用方法にかかる標準化方針検討

④パレット標準化実証等

⑤上記を踏まえたサイズ・仕様や運用方法等の標準化にかかるとりまとめ

〈第2段階：標準化推進方策検討〉

⑥上記⑤においてとりまとめたパレット標準化の具体的推進方策のとりまとめ

2. 分科会構成員：

官民物流標準化懇談会の学識及び各構成組織からパレット分野にかかる知見のあるご担当者に参画いただくとともに、関係する有識者・団体等からも新たにご参加いただく。分科会の検討段階や議題に応じて、柔軟に人数やメンバーを変更することも検討。

3. 開催頻度等（案）

分科会開催頻度… 1回／約4か月

※令和4年度に第2回物流標準化懇談会を開催し、分科会における議論の進捗を報告することを目指す。